



退職後の地方都市移住のポイント

～60代6000人アンケートの声から～

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

2022年7月21日

アンケート調査概要とレポートの特徴

2019年、2021年に続いて2022年も60代をターゲットとしたアンケート調査を実施。全2回の地方都市移住にフォーカスした調査を踏まえて、今回は3大都市圏、100万人以上の都市、30万人以上の都市の3つの区分からそれぞれ2000人強の回答を得て、移住のみならず、現在の居住地での生活の満足度、住んでいる都市の評価などを聞いた。

2022年60代6000人アンケート調査概要	
調査実施時期	2022年1月31日～2月3日
調査対象	60-69歳6486人（男性4804人、女性1682人）
居住地	3大都市圏2131人、100万人以上都市2175人、 30万人以上都市2180人
移住した人	過去10年以内に移住440人(3大都市から67人、 それ以外の都市から373人)
世帯資産	平均2695.8万円、中央値1001-1500万円
生活全般に対する満足度 (満足5点-不満足1点)	平均3.17点（健康状態3.30点、仕事・やりがい3.20点、 人間関係3.51点、資産水準2.80点）

3大都市は東京・大阪・名古屋、100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30-100万未満都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

年齢別の移住の検討状況 (単位：人、%)

現在住んでいる都市		合計	
		回答者数(構成比)	
全体		6486人	
3大都市圏	小計	2131(100.0%)	
	移住を検討中	238 (11.2%)	
	移住を諦めた	123 (5.8%)	
	移住を考えたことがない	1770 (83.1%)	

移住して良かった点、それほど良くなかった点

(単位：人、%)

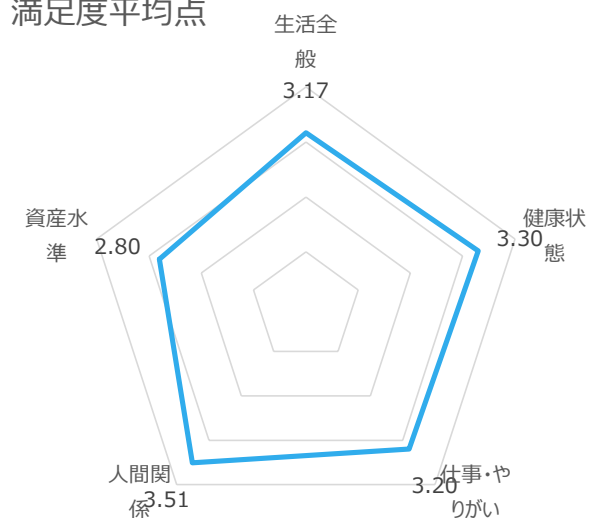
	移住して良かったと評価した理由						思ったほど良くない評価した理由						
	回答者数	生活費の削減が可能になった	新しい趣味などで生活にゆとりができた	新しい人とのネットワークができた	家族・夫婦関係が良くなった	その他	回答者数	思ったほど生活コストが下がらなかった	旧来のネットワークが弱くなったこと	却って外出しなくなった	医療が十分に受けられない	仕事が見つからない	その他
移住した440人	334	42.8	24.6	22.5	20.4	14.7	106	42.5	25.5	26.4	6.6	11.3	11.3

満足度調査 (60代 6486人)

満足度水準	配点	生活全般	健康状態	仕事・やりがい	人間関係	資産水準
満足できる	5	9.0%	10.6%	8.2%	12.3%	6.0%
どちらかといえば満足できる	4	36.6%	39.2%	28.0%	42.9%	21.9%
どちらともいえない	3	27.4%	26.3%	46.1%	32.4%	34.0%
どちらかといえば満足できない	2	16.0%	17.0%	10.6%	8.5%	22.5%
満足できない	1	11.0%	6.9%	7.1%	3.9%	15.6%
平均点		3.17	3.30	3.20	3.51	2.80

(単位：%、点)

満足度平均点



(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

All rights reserved ©FinWell Research LLC, 2022

都市の規模別満足度、推奨度

(単位：点)

	回答者数	満足度						都市の推奨度	
		生活全般	健康状態	仕事・やりがい	人間関係	資産水準	5つの平均	NPS	平均値
合計	6486	3.17	3.30	3.20	3.51	2.80	3.19	-46.1	6.14
3大都市	2131	3.14	3.32	3.19	3.49	2.82	3.19	-51.8	5.95
100万人以上	2175	3.19	3.29	3.20	3.52	2.78	3.20	-40.5	6.31
30万人以上	2180	3.17	3.28	3.21	3.53	2.80	3.19	-46.4	6.17

(注) 満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ=10」から「やめた方がよい=0まで」の11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30万人以上都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇。

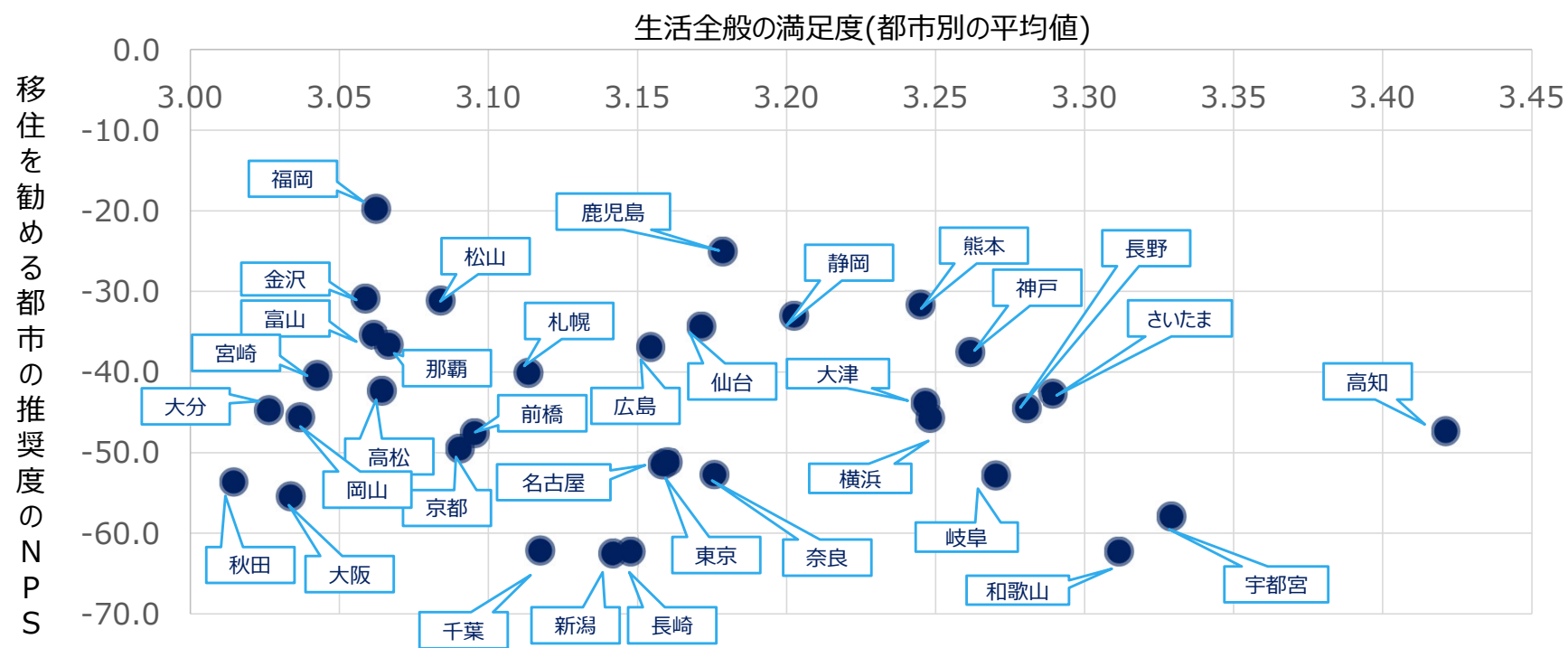
60代、自分の住む都市の良い点として挙げるところ

(単位：人、%)

	回答者数	良い点											
		物価が安い	食べ物がおいしい	家賃・住居費が安い	趣味の集まりがたくさんある	医療体制が意外に充実している	市役所等の公的サービスが使いやすい	交通の便が良い	気候が良い	海・山など環境が良い	大都市にいつでも出かける利便さ	その他	良い点はない
全体	6486	18.5	23.0	14.0	5.3	35.4	23.1	54.4	28.2	20.2	31.5	2.0	6.9
3大都市計	2131	19.8	13.4	14.2	6.3	41.2	29.3	69.9	16.3	6.2	35.2	2.1	6.2
人口100万人以上	2175	12.3	22.9	11.0	5.9	38.8	23.8	62.5	28.3	21.7	38.8	2.4	5.7
人口30万人以上	2180	23.3	32.7	16.8	3.6	26.5	16.3	31.2	39.8	32.3	20.7	1.6	8.8

都市別の移住を勧める推奨度の関係 – 満足度は都市で決まるものではない

生活全般の満足度と移住を勧める推奨度の関係



(注)満足度は、「生活全般の満足度」、移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ=10」から「やめた方が良い=0」までの11段階で評価し、10点(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所